

## 言葉の耳袋 (7)

## 不精から生まれた宝 : ペタペタ・アルバム

海外・帰国子女教育専門機関 JOBA 顧問 教育アドバイザー

張江 幸男

滞在期間の長短にかかわらず、海外に住む子ども達への日本語の教育は保護者にとって大きな問題です。このコラムでは、海外・帰国子女教育の大ベテランが「海外での日本語教育」へのアドバイスを語ります。

## 【1】きっかけ

台北に派遣されたとき、大量のアルバムを持参した。3年間という限られた外国での生活。きっと沢山の写真を撮るにちがいない。と意気込んでのことであった。

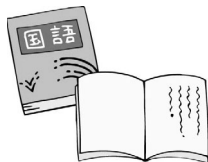
ところが、写真はどんどん撮ったのに、勤務は予想外に多忙であった。アルバム整理は日曜日でもやろうか、と思ったが、日僑協会（日本人会）の月刊誌の編集長を仰せつかったので、会合や取材活動でほとんど潰れてしまう。写真はダンボール箱に溜まってしまふ。夏休みなどに整理し始めたが、何処の写真だったのか、写っている人はどんな人か。この写真の前後にどんなエピソードがあったのか。記憶は当てにならなかった。あとで整理することの難しさを痛感した。

## 【2】出来ることをやる → 大学ノートに貼る

旅行や、行事で写真をとったら、直ぐに大学ノートに貼った。その余白にコメントを書き込んだ。とくに印象に残ったことを、俳句や短歌にしてその横に書き込んだ。どんどんノートはふえていった。列記すると、①入学式 ②建築ラッシュ ③故宫博物館 ④北京語学校の学習風景 ⑤翔んだ修学旅行⑥孔子祭への参加 ⑤三校水泳大会（台北・台中・高雄）⑥遠東航空墜落事故（生徒や親にも犠牲者が）⑦台北一の画廊で全校絵画展 ⑧全日本人が集まる音楽会

## 【3】中学生にすすめる → 子供から親に伝わる

社会科の授業で、このようなアルバム創りを生徒にすすめると、「先生、これはなんですか」という問い。とっさにペタペタ・アルバムと答えていた。保護者会でも話題になったので、数冊を展示して憚った。アルバムの未整理は、誰もが解決策を求めていたらしく、早速、やり始めましたと言う声が寄せられるようになった。



## 【3】多機能のペタペタアルバム → 総合学習の役割

生徒個人にもアルバム整理の方法として勧めたが、修学旅行には全員に課題として提出させた。私が期待した以上の成果があらわれた。

フィリピンに行った中学3年生の佳子さん（仮名）のノートを紹介しましょう。

1、事前調査・・・歴史・地理・現在の政治経済・文化  
文献や新聞その他より、きめ細かな資料を収集し、事前学習を前段に紹介している。

2、写真に付随したコメントと俳句・短歌

① 中華航空 81 便の窓より・・・

雲の間に初のフィリピン眼にうつる 思わずおどる我れの心よ

② 空港出たところで・・・

黒き肌鋭き眼の警官の カン高き笛熱気切り裂く

③ 文化村で・・・スコールでゆるりと眺める文化村

④ 街角で・・・ジブニーの派手なおしゃれに目を見張る

⑤ ホテルで・・・

マニラにて英語を使う先生が なぜだかとても光って見える

⑥ モンテルパで・・・

戦争のむなしさわかるしみじみとわが師の歌も悲しく聞こえる

⑦ バグサンハンで・・・

バグサンハン幼き子らの物売りに眉をひそめてただ首を振る

⑧ 外国人と一緒に・・・

にこやかに声を掛け合う外国人 我れ口惜しさと羨ましさと

⑨ 米軍墓地にて・・・

戦争の酷さを語る白き墓 永遠の平和を我れ祈りたり

⑩ ホテルの室内で・・・

マニラの夜旅の終わりを惜しみつつ 俳句短歌を作りて苦しむ

それぞれのコメントは、撮影の前後のことや、失敗談などで、その表現の多様さに驚かされる。

3、最後の纏めには、このペタペタ・アルバムを家族で見ながら会話が増え、今までより何倍もの意見を家族から引き出すことに成功したと語っている。

なお、最後のページには大封筒をつけ、旅で得た資料、チケット、パンフレットなどが総て収められていた。